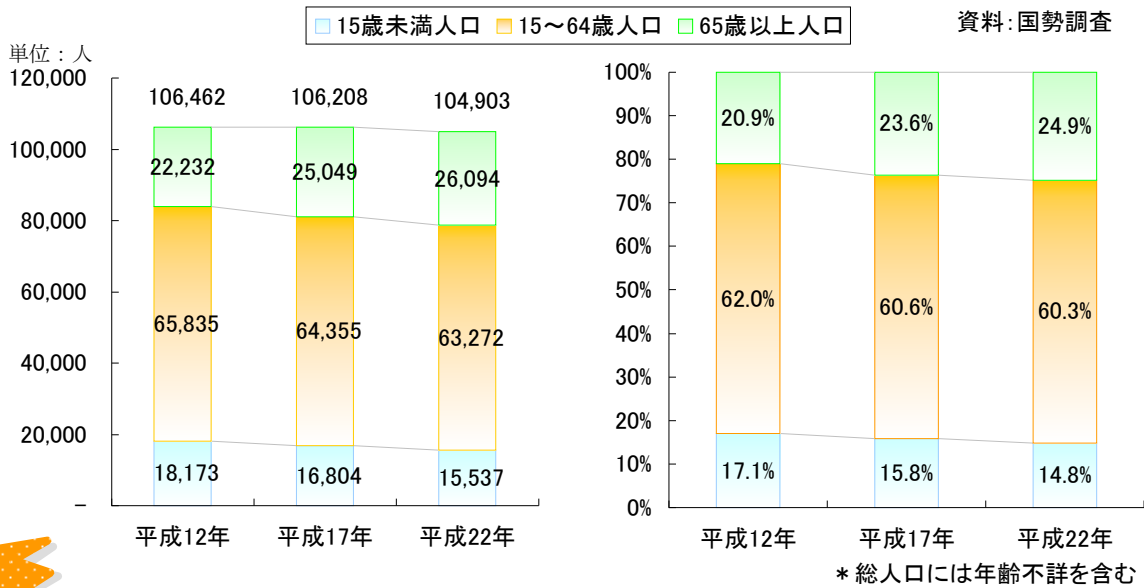


# 鹿屋市の現状

## 人口減少社会の到来

我が国の人口は、平成22年には1億2800万人を突破していますが、本市（に該当する地域）の人口は、平成12年の106,462人をピークに減少しています。

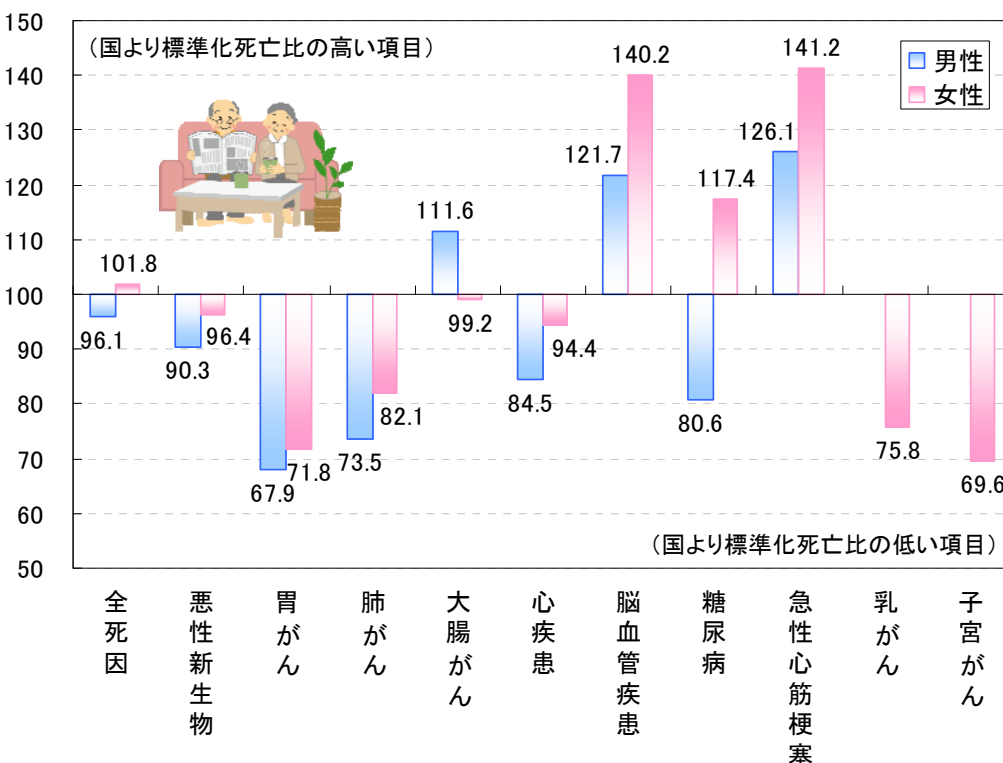
人口が減少傾向を示した平成12年以降の年齢3区分別の推移は、年少人口比率と生産年齢人口比率が減少し、高齢化率が増加していることがわかります。



## POINT

### 標準化死亡比の状況

本市の標準化死亡比では、男女ともに「脳血管疾患」と「急性心筋梗塞」が国を上回っています。特に女性は140を超え非常に高くなっています。



**【標準化死亡比】**  
 年齢構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標であり、国平均が100で、100以上の地域は死亡率が高く、100以下は低いことを表す。